

先週の説教要旨

『世に勝つ信仰』井上隆晶牧師

Iヨハネ5:1~5、11~12、
ヨハネ福音書16:28~33

❶【キリストに愛されている】エフェソ教会の長老ヨハネは「神から生まれた人は皆、世に打ち勝つからです。世に打ち勝つ勝利、それはわたしたちの信仰です。だれが世に打ち勝つか。イエスが神の子であると信じる者ではありませんか。」(Iヨハネ5:4~5)と三回も「世に打ち勝つ」という言葉を書いています。そこで世に打ち勝つ信仰とは何かについて三つのことを話そうと思います。

第一に、私たちはキリストに愛されているから世に打ち勝つことができるのです。パウロは「誰がキリストの愛からわたしたちを引き離すことができますか。…わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。」(ローマ8:35、37)と語ります。ここでパウロはキリストの愛によって私たちは勝利を収めていると言うのです。キリストのあなたへの愛を誰も引き離すことは出来ないからです。なぜこんな罪を犯す私を愛するのですか、と聞くなら主はこういわれるでしょう。「自分のしたいようにしては、いけないのか。」(マタイ20:15)「わたしは自分が憐れもうと思う者を憐み、慈しもうと思う者を慈しむ。」(ローマ9:15)キリスト教の救いとは、一方的に神のものなのです。神が愛したいから愛し、赦したいから赦すのです。人間の側の条件は何もありません。このキリストの愛を知っている人は、パウロのように言うのです。もう勝ったようなものだ！なぜならこの方の愛がものすごいからです。この神は人を追いかける神であり、人を救うことに実に熱心です。

❷【神の言葉は必ず成ることを知っている】第二に、キリストの言葉、神の言葉は必ず成るからです。榎本保郎牧師はこう書いています。「私たちは、その約束をなかなか本気で受け取ろうとしない。現実には、何一つその約束の成就を裏づけるような原因が見つからないからである。けれども天地創造の物語の始めにあるように、この天地は原因があって生まれたのではない。神の言葉によってすべてのものは造り出されたのである。たとい今の現実がどうであろうともそれは問題ではない。この神の約束を信じ、委ね、従ってゆく時、私たちは、この世に勝利してゆくことができるのである。」私たちは今、目の前の現実がどんなに可能性がないように見えても、希望をもっています。明日、神が動くなら必ず何かすごいことが起こるからです。

❸【キリストのように生きることで世に勝つ】第三に、私たちはキリストを真似て生きているからです。10月2日はガンジーの誕生日でした。インドは昔イギリスの植民地でしたが、ガンジーは非暴力による抵抗運動を行い、イギリスからの独立運動を指揮しました。1948年1月、ガンジーは狂信的なヒンドゥー教原理主義者によって襲撃され78年の生涯を閉じました。ピストルで撃たれた時、ガンジーは自らの額に手を当ててこの世を去りました。それはイスラム教で「あなたを許す」という意味の動作です。ガンジーの平和主義運動はキング牧師など、世界中に大きな影響を与えました。彼はクリスチャンにはなりませんでした。彼は聖書をよく読み、キリストの生き方を真似た人でした。ガンジーは「キリスト教はすばらしいが、キリスト教徒は駄目だ」と言っています。彼はクリスチャンではないのに、最もクリスチャンらしい生き方をした人でした。^

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立1957年12月1日 教会設立2001年12月2日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

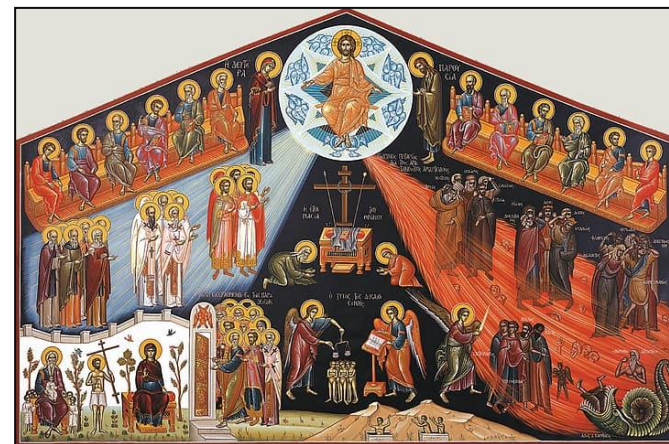
Eメールアドレス: miyakoch@eagle.ocn.ne.jp

ホームページアドレス: <https://miyako.jima-church1.com>

郵便振替00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆 晶

2025年10月12日 No.1841



《最後の審判》

都島教会の2025年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい。」(詩編127:1)

2025年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均28名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。